

## 「2007年1月から2014年7月までに川崎医科大学附属病院消化器外科で手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名「75歳以上の胃癌患者における予後因子に関する臨床的検討」に関する研究について

2007年1月から2014年7月までに、川崎医科大学附属病院消化器外科で手術による治療を受けられた患者さんについて、性別や術式、術前栄養状態、摘出標本病理学的所見、合併症の有無などを検討することで、今後の治療を行われる高齢者胃癌患者の予後改善の因子を検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、今後治療を行われる高齢者胃癌患者の予後を改善する因子を検討することです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表する予定です。本研究は術後経過を再評価し、カルテからのデータのみを収集する疫学研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断のひずみが起こりかねない状態を利益相反といいます。本研究において患者の金銭的負担は無く、また謝礼も発生しません。本研究は主任研究者の教員研究費を使用するため、すべての研究者において、利益相反の状態にはなりません。

研究成果に関しては、学会報告や論文作成を行い、科学と社会への貢献を行います。この際、被験者個人が特定できないように格段の配慮を行います。この研究課題を実施する関係者には中外製薬株式会社、株式会社大塚製薬工場、塩野義製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、第一三共株式会社、大塚製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社より奨学寄附金の受け入れ、およびアボット ジャパン株式会社より報酬の受け入れはあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、本研究課題には直接関係はない企業です。参加を希望されない方や疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者:消化器外科学 臨床助教 上野 太輔

e-mail:shouge@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 26503) FAX:086-462-1199